

ENERGY FRONTIER JOURNAL



エネルギーフロンティア ジャーナル 2026年 夏号 目次



- 時事解説
- エネルギーフロンティアの事業紹介
経産省様『工場・事業場型 省エネ補助金』特集
- エネルギーフロンティアのひとり言
「サプライチェーン連携枠」について
- イベント情報
環境省様『ペロブスカイトPV補助金』公募開始 ほか

VOL.61



経産省様『工場・事業場型 省エネ補助金』特集

酷暑の季節がやってきました。地球危機を実感せざるを得ない毎日ですが、水分補給を十分に、体調を大切にされ、厳しい夏を乗り切っていただければ、と思います。
さて、2026年夏号では、**比較的大型の省エネ設備導入**に有効な、経産省様『**工場・事業場型省エネ補助金**』について、実例を交えて詳しくご説明したいと思います。

『工場・事業場型 省エネ補助金』の対象設備

『**工場・事業場型 省エネ補助金**』の対象設備は、「**①先進設備・システム**」「**②オーダーメイド型設備**」「**③指定設備**」に分類されます。「**①先進設備・システム**」は、各メーカーが登録している先進設備を選定して、補助金申請を行います。申請には「**省エネ率30%以上**」等の厳しい要件をクリアする必要があります。特に注意点は、**省エネ率の定義が「事業所全体のエネルギー使用量に対する省エネ率」**であることです。



出典：SII様補助金パンフレット

次に、「**②オーダーメイド型設備**」ですが、その名のとおり、カタログ商品では無く、**一品一葉の設計要素を含む設備導入**を目指す事業に適します。実は、経産省様の省エネ補助金のなかで、唯一、**自由に導入設備を選定**できる事業内容となっています。いっぽう、オーダーメイド型として認定されるには、従来設備と比べて、**省エネ性に優れる独自設計**であることや**先進性に優れる**ことなどが必要です。また、「**省エネ率10%以上**」など、比較的に厳しい要件をクリアすることにも、注意が必要となります。

最後に、「**③指定設備**」は、設備のみが補助対象の「**設備単位型**」補助金に適用できる「**指定設備**」を選定したうえで、上記と同様に「**省エネ率10%以上**」などの厳しい要件がクリア出来れば、**設備に加えて工事まで補助対象**に含めることができる「**工場・事業場型**」補助金に申請することが可能になります。比較的、**規模の小さな工場**や、**ホテルや老健施設**など、大きな省エネ効果が見込める事業に適しています。

「設備単位型」補助金との違い、「工場・事業場型」特有の内容について

皆さまに多くご活用いただいている「**設備単位型**」補助金は、**中小企業様を主体**として、比較的小規模な設備投資に向いているのに対して、「**工場・事業場型**」補助金は、**大企業様でも申請が可能**であり、**大規模な設備投資**に向いていると言えます。省エネ設備だけでなく、**工場の生産設備にも適用が可能**です。ただし、**申請書類も非常に多く、申請時の審査も厳しい**ため、「設備単位型」とは違い、**専門性が問われます**。また、補助金採択後の「**実績報告**」の段階においても、工事業業者様の選定方法や成果物の書類作成など、**補助金特有の煩雑な作業**が必要になります。設備導入後の「**成果報告**」においても、「設備単位型」補助金では、導入前後の1カ月のデータ比較での簡易な成果報告が可能となっていますが、「**工場・事業場型**」補助金では、**導入後の1年間の計測データに基づく成果報告**が必要となっています。**事業実施後5年間**は、**会計検査院様の監査を受ける場合**もあります。よって、補助金を活用される場合には、**当社のような外部支援**を受けて、**効率的に事業を実施**されているお客様も多いです。

経産省様『工場・事業場型 省エネ補助金』特集

『工場・事業場型』の「事業区分」と「補助率」

次に、事業区分は、「A.先進枠」「B.一般枠」「C.中小企業投資促進枠」「D.サプライチェーン連携枠」に分類されています。補助対象経費としては、「設計費」「設備費」「工事費」を含めることができます。

「A.先進枠」は、「①先進設備・システム」を導入する事業で、「補助率」は、中小企業等は2/3、大企業等は1/2となります。「B.一般枠」は、「②オーダーメイド型設備」「③指定設備」を導入する事業で、補助率は、中小企業等は1/2、大企業等は1/3です。

事業区分	補助対象経費	補助率
先進枠	設計費	は 2/3を補助
	設備費	は 1/2を補助
一般枠	設計費	は 1/2を補助
	設備費	は 1/3を補助
中小企業投資促進枠	設備費	は 1/2を補助
New サプライチェーン連携枠	工事費	は 1/2を補助
	設備費	は 1/3を補助

出典：SII様補助金パンフレット

注目すべき事業区分として、「C.中小企業投資促進枠」が設定されています。申請する事業者が、中小企業や要件を満たす企業団体等であれば、「B.一般枠」では厳しい省エネ率10%などの要件が、「C.中小企業投資促進枠」の場合は、「省エネ率7%」などの要件に緩和されています。「補助率」は、「B.一般枠」と同じく、中小企業等1/2が適用されるため、申請に対するハードルが下がっていると言えます。

『工場・事業場型 省エネ補助金』の成功事例ご紹介

では、当社がご支援させていただき、経産省様『工場・事業場型 省エネ補助金』に採択されて、非常に喜んでいただけている成功事例をご紹介します。石川県の工場において、木材の集成材の加工・販売、木造建築の設計・施工をされている株式会社中東様の省エネ補助金の導入事例となります。

本事業は、「②オーダーメイド型設備」として採択を受けた事例ですが、導入設備は、「Ⅰ木材加工設備」「Ⅱ木材切削設備」「Ⅲ集塵設備」の組み合わせとなっており、Ⅰ～Ⅲ合計で、工場全体における省エネ率10.8%(>10%以上)を目標値に申請して採択を受け、省エネ量は申請値23.3kL(原油換算値)に対して、実績値34.4kL(148%達成)となりました。補助対象経費は約2.4億円で申請を行い、補助率1/2の補助金約1.2億円を無事に取得されて、事業を完了されております。

なお、経産省様『工場・事業場型 省エネ補助金』に関しては、すでに1次公募と2次公募が実施されました。3次公募に関する概要・スケジュールは、詳細が決まり次第、事業内容が公開される予定です。納期の長い設備の導入には、複数年度事業も適用可能ですので、ぜひ、補助金のご活用をご検討ください。



株式会社中東様 木材加工設備



株式会社中東様 木材切削設備



株式会社中東様 集塵設備

エネルギーフロンティアは、「省エネ補助金」をご活用いただき、設備導入を進める『協働事業』を実施させて頂きたく、是非とも、当社にお声掛けください。

エネルギーフロンティアのひとり言

＊ ＊ 「サプライチェーン連携枠」について ＊ ＊

本号では、経産省様『工場・事業場型 省エネ補助金』に関して、詳しく内容をご紹介しました。紙面の関係上、本編に掲載できなかった「D.サプライチェーン連携枠」についても、補足します。昨今、**自社の活動に関連する他社のCO2排出量**、いわゆる“**scope3**”のCO2排出量削減についても、**社会的な責務が問われる**世の中に移行しつつあります。例えば、工場であれば、川上の原材料の仕入れ先や、川下の製品の供給先など、**サプライチェーン全体で連携**して、省エネ・CO2削減を推進することを指します。経産省様では「**D.サプライチェーン連携枠**」を新設されて、**4者以上が共同で立案した設備更新計画**を支援する事業となっています。申請要件は、**それぞれの事業者が「省エネ率5%以上」**を満たすこととなっており、補助率は**中小企業者等1/2、大企業等1/3**です。上限額も、単年度事業15億円、複数年度事業20億円と潤沢な予算が設定されており、**大型プロジェクトへの設備投資**が期待されます。

同じようなスキームは、**環境省様『Scope3排出量削減のための企業間連携による省CO2設備投資促進事業』**でも実施されています。この事業では、「**現状の設備に対して30%以上の省CO2が見込める設備の導入**」が補助対象になっており、**補助率は経産省様事業と同条件**です。いずれの事業も、まだ採択事例が少なく、**資本関係の無い他社との共同事業をいかに推進できるかが課題**と言えます。今後の動きを注視しつつ、情報提供を継続させていただきます。



出典：環境省様予算資料

イベント情報

- ✓ 前号でも特集した、今後の太陽光発電の担い手として期待されている『**ペロブスカイト太陽電池**』に関して、**今年度の補助事業の公募が開始**されました。1次公募の第1回締切は7月13日に終了しましたが、**第2回締切9月4日、最終締切は9月30日**です。詳細は以下HPご参照ください。
<https://eta.or.jp/offering/2026/psc/index.php>
- ✓ 経産省様で定期的に行われている「**省エネルギー小委員会**」において、6月26日「**更なる省エネ・非化石転換の促進に向けた政策について**」が公表されています。以下のHPをご参照下さい。
https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene_shinene/sho_energy/050.html
- ✓ **9月9日～11日**に「**第26回 SMART EVERYGY WEEK秋**」が開催されます。「**第1回国際熱エネルギー展**」「**第9回サステナブル経営WEEK秋**」も同時開催されます。以下のHPご参照下さい。
[来場のご案内 | 第26回 SMART ENERGY WEEK ～スマートエネルギー WEEK～【秋】](#)
- ✓ 日本政府は、**廃炉を決めた原発のリプレイス（建て替え）**について、**2040年代までに最大5基、50年代までに最大14基とする目標案**をまとめました。**東電福島第一原発事故後に、政府が数値目標を示すのは初めてです。「原発回帰」へのルールが、知らぬ間に着々と敷かれています。**



〒530-0012 大阪市北区芝田2-3-19 東洋ビル本館3F

TEL : 06-6940-7681

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-9 エリナビル202

TEL : 03-6206-1245

E-Mail : info@energyfrontier.jp HP : <https://www.energyfrontier.jp>